

# 協力隊 が 行く!

今月の担当は  
おうはし 隊員 です!

皆さん、こんにちは！枕崎に移住して8ヶ月が経過しました！大橋です！

今回は今進めている事業について紹介できればと思います。

私は大きく以下の3つの事業を推進しています。



▲九州ドラフト会議では出汁のきいたプレゼントで優秀監督賞を受賞！

■ 移住事業

昨年度は「九州移住ドラフト会議2023」という民間企業が推進する移住イベントに参加し、新卒で2人の移住者を獲得しました。

このイベントは移住者を受け入れたい地域を「球団」、移住志望者を「選手」と見立て、プロ野球のドラフト会議ながらに球団が選手を指名するマッチングイベントです。移住、という人生で重い決断をコント仕立ての楽しいノリで地域と移住志望者をつなげる、今までないイベントです。なお、私もこのイベントがきっかけで移住しており、2年で3人の移住者を獲得している強力なイベントなので、今後も参加していきたいと思っています。

私は自身も枕崎へ来る前はフルリモートで働いていたので旅行しながら仕事をする、ということはよくしていましたのでぜひ枕崎でも推進したい事業でした。ただ、実際に企業向けに提案してみたり、事例を調査してみると、交通の便が良いことが前提になっているように見受けられました。これは勝負にならないなあと思っていたところ、思いついたのが企業との新規事業創出です。

東京の企業も既存事業だけやつていたら頭打ちなので新規事業へ取り組みを進めています。その中のテーマの一つに地域との連携があつたのです。ただ、問題になるのが東京の企業側には地域課題の具體化ができないから、地域課題がわかつても一緒に取り組む地域での人脈がない場合が多いです。その東京の企業と地域をつなげる役割を果たしながら、企業の方に枕崎に来てもらったり、ワーケーションをしていただくことで立地の不利を覆せるのではないかと思っています。

以上三つの事業、という大枠は変えずに今期は新たな取り組みも、今までの取り組みの発展もしていきたいと思っていますのでどうぞ期待ください！！

■ 企業連携事業

国や県で注力している事業にワーケーション事業があります。これは地域で仕事をしながら中長期の間、滞在してもらう仕組みです。

私は自身も枕崎へ来る前はフルリモートで働いていたので旅行しながら仕事をする、ということはよくして

# 市長 コ ラ ム

vol. 49



## 集まる場所

5月8日、新型コロナウイルス感染症の分類が、2類から季節性インフルエンザと同等の5類へと変わり、3年以上続く新型コロナウイルス感染症との闘い、共存がいよいよ新たなフェーズに入していくこととなります。すでに「2類から5類へ」との情報が発表された頃から、少しずつ人の動きに変化が見られ、マスク着用も個人の判断に任されるなど、社会が少しポストコロナの状況へと動き出しています。

さて、これから何が変わっていくのでしょうか。

集まる場所に人々が戻ってくるはずです。これまでの3年間、なかなかできなかった、人が集まるイベントが戻ってきます。本市では、昨年夏のきばらん海の開催以降、秋には野球場や駅前広場を活用したイベント、今年に入つて春の市を4年ぶりに開催するなど、イベントが戻つて来つつあります。また野球場では海外を含む県外の高校、大学野球チームのキャンプ・合宿が行われ、関係人口増加への取り組みが進んでいます。旧金山郵便局跡の宿泊施設を併設したカフェ、市役所近くの古民家ゲストハウス・カフェなど、新しいスポットもできています。4月から金山小学校跡では、地元進出企業による新しいICT活動拠点がスタート。イベントだけでなく、日常的に人が集つ場所が整えられてきています。コロナ禍の間も多くのキャンプ客を集めていた火之神地区は、地元企業の新たな取り組みや市有地の環境整備など、新しい人の流れにも期待したいところです。先月のコラムに「いい準備」をすることの重要性を書きましたが、今後もポストコロナを見据えた「集まる場所」が整えられ、これから市民の暮らしが、さらに豊かになることを期待したいと思います。

## 国体の成功に向けて



燃ゆる感動かごしま国体枕崎市実行委員会第8回総会が4月18日に開催され、今年10月に本市で開催される「なぎなた競技」に向け、事業計画や会場地の装飾を行う花いけ運動の推進、国体ボランティアの募集および研修などを予定しています。

本国体の成功に向けて、万全な準備を進めていきますので、ご協力のほどよろしくお願いします。

本国体の成功に向けて、万全な準備を進めていきますので、ご協力のほどよろしく